

# フレンドリー

## FRIENDLY



### 新型コロナウイルス禍での フレンドリーシティからのレポートとOIEA



▲人との距離の確保を伝えるサイン  
(ドイツ・シュツットガルト市)



▲熱やせきの症状がある人は  
立ち入らないように伝えるポスター  
(オーストラリア・グレンアイラ市)



マスクの正しい  
付け方のポスター

### 3密を避けて6月1日からスタート



▲災害について学ぶ日本語教室



▲マンツーマン方式日本語学習



▲スーパーに入店する人は  
マスクを着用するよう伝えるポスター  
(米国・ユージーン市)



▲日本語学習の前に検温を実施

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、今年は海外フレンドリーシティ交流事業の中止をはじめ、国内での事業も中止や延期となりました。

感染防止のため、2月末より休止にしていた、「外国人市民の日本語学習支援」や「相談窓口」は、3か月ぶりとなる6月1日から新型コロナウイルスの感染防止策を取りながら再開しました。日本語学習の再開を待っていた多くの外国人市民の皆さん、そしてボランティアの皆さんが、来館されています。

# フレンドリーシティ各国の 新型コロナウイルス禍での生活

令和2年度は、オーストラリア・グレンアイラ市、ドイツ・シュツットガルト市、そしてアメリカ合衆国ユージーン市、ビーバートン市(オレゴン州)への研修派遣事業を予定していましたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の中で、全ての派遣事業を中止しました。

そこで、今年度訪問する予定であった都市に在住されている方で、大垣との交流に深くかかわっていらっしゃる皆さまに、街の紹介や新型コロナウイルス禍でどのように生活をされているのか、お聞きしました。

## オーストラリア・グレンアイラ市

私は1973年から、40年以上グレンアイラに住んでいます。グレンアイラ市は、学校、公共交通機関、美術館、お店、レストランなど全て揃っていて、とても住みやすい街で、子どもたち、そして孫たちも、この街のことが大好きです。

市の施設としては、自転車道、子どもたちの遊べる公園、プール、公園、そして競馬場といった市民の憩いの場所がたくさんあります。



▲商店街とカフェ

その中で、私のお気に入り、コーフィールド公園(Caulfield Park)です。コーフィールド公園は、広大な屋外のスペースで、その3分の2は、スポーツ施設



で、サッカー、クリケットなど7種類のスポーツができるようになっています。また、子どもたちのあそび場やテニスコート、ゲートボール場、ローンボールズ場(イギリス発祥のスポーツで、球をころがして目標の球に近づけることを競うゲーム)、植物園、ピクニックやバーベキューができる芝生広場、野外劇場、ローズガーデンなどがあります。

## マーティン バーホーベンさん



平成30年、大垣市制100周年記念の年の大垣まつりに、グレンアイラロータリークラブのメンバーとして、来垣。以来、大垣市とグレンアイラ市の学生交流の継続のために動いてくださいました。それがきっかけとなり、16年ぶりにグレンアイラ市の学生の大垣訪問が復活の予定でしたが、来年度以降に延期になりました。



▲鴨や白鳥のいる池

## 新型コロナウイルスによる行動規制

新型コロナウイルスで行動が規制されるまでは、屋外で運動する活動が盛んに行われていました。

新型コロナウイルスによる行動規制により、メルボルンではチームでスポーツは全てできなくなりました。写真のように、公園への立ち入りが制限され、お店などでは入店できる人数が制限され、また外での運動でも複数人での活動が禁止されました(屋外での活動も、同居の家族以外は自分を含めて2人以外までに限定されています)。そのため人々は個人でできるスポーツやウォーキングをするようになりました。

### (編集委員会による追記)

グレンアイラ市のあるビクトリア州は、7月上旬からロックダウンとなっていたが、9月13日より段階的な制限緩和に向けて動き始めました。夜間(21:00~5:00)の外出が禁止され、食料品や日用品の買い物、屋外での運動、許可された業種の仕事、通院や介護を除く外出の禁止も継続されています。(9月17日現在)



▲囲いでふさがれている子どもの遊び場



▲カフェの入り口の張り紙(感染予防のため店内には2人ずつしか入れないことを伝えています)

## ドイツ・シュツットガルト市

シュツットガルトはバーデンヴェルテンベルク州の首都であり、ネッカー川沿いにあります。人口は約60万人で、そのうち40%は移民で、約170の国籍を持つ人々です。

シュツットガルトの魅力はたくさんあります。シュツットガルトは文化のまちで、数々の美術館、博物館、劇場、オペラハウス、コンサートホールなどで一年中いろいろなイベントが行われています。歴史的な建物も近代の建物もあります。



オペラハウス



美術館

新宮殿前の広場で夏祭りが開催され、秋には旧宮殿に隣接しているシラー広場でワイン祭りが開催されます。市民はヴュルテンベルクのワインとシュヴァーベンの名物料理を楽しみます。春や秋にはビール祭りが開かれ、大きなビールホールで音楽を聴きながら友達とビールを飲んだり話したりします。

12月にはドイツで最大級のクリスマスマーケットが開かれ、周辺地域からだけでなく海外からの観光客も大勢来ます。



新宮殿前での夏祭り



ビール祭り



クリスマスマーケット



メルセデス・ベンツ博物館のコラージュ



ぶどう畑

休みの日や天気の良いときには、市民は公園やウィルヘルム動物園、郊外のぶどう畑でのんびりと過ごします。

## 新型コロナウイルス禍での生活

普段はとても賑やかな町ですが、3月末から新型コロナウイルスのため、社会生活がほとんど停止され、学校やサービス業、会社、文化・スポーツ施設がすべて閉鎖しました。その後、テレワークの導入や学校ではオンライン授業となり、子どもがいる家庭では精神的にかなり難しい時期でした。商売や文化の面でも大変苦しい時期でした。4月末から対策が少しずつ緩和され、接触制限や距離制限を守りながらマスクをつけて外出できるようになりました。学校では、生徒の半数だけが通えるようになり、秋からは全員学校に通学できる予定です。シュツットガルトでもコロナ対策に反対するデモがありました。通常、旅行が大好きなドイツ人は夏休みに海外に行きますが、今年はほとんどの人がドイツで休暇を過ごすことになるでしょう。今の所、ドイツ南部の感染者数は少ないですが、多くの人は秋の学校再開や冬になり、感染者が増えることを恐れています。私たちは、新型コロナウイルスの感染防止に努めながら、ワクチンが出来上がれば、コロナウイルスと共存しながら生活していくことになると思います。そして、楽しみのある生活ができるだけ早く戻ってくることを心より願っています。



## 米国・ビーバートン市(オレゴン州)

### マスク着用の習慣のないアメリカで ～新型コロナウイルス禍での生活～

ここ米国での人々の暮らしは、新型コロナウイルスの大流行によって大きく変化しました。この変化は、家庭生活、学校生活、飲食をはじめとする商売、ビジネス、交通、市の行政などを含む社会の多様な面に影響を及ぼしています。その影響は、米国の他の都市と同様に、ここビーバートンでも同じです。米国の人々の新型コロナウイルスに対する考えや態度の移り変わり、そしてウイルスと共存した生活をどのようにしていくのか、私を感じた出来事を紹介します。

アメリカ人の多くは、最近までマスクを着けることに抵抗をもっていました。今年の3月をはじめ、私はスーパーに買い物に行くときも、カフェにコーヒーを買いに行くときも、いつもマスクを着けていました。すると、ほとんどの人は、まるで私が新型コロナウイルスの感染者であるかのようなまなざしで私を見ていました。もともとアメリカで暮らす人々はマスクを着ける習慣はなく、多くの人は、今まで着けたことすらないくらいでした。しかし、今ではマスク着用は必要なことだと認識され、人々はマスクを着けることを受け入れるようになりました。また、ビジネスシーンや集会などにおいても、社会的距離を保つようにしています。

今、私は感染をさけるため、できるだけ最小限の外出にとどめ、できるだけ家にいるようにしています。広い裏庭がありますので、庭仕事をしたり、孫と遊んだりして過ごしています。この6月には、本当であれば大垣市をはじめとする日本各地の訪問を予定していましたが、それも残念ながら中止となりました。今までの30年間、オレゴンの高校生の日本でのホームステイプログラムによる交流を続けてきましたが、今回の中止は、交流を始めて30年間で初めてのことです!! 日本の訪問を楽しみにしていたオレゴンの高校生はとても残念がっていました。と言いますのも、日本訪問は高校生活における大きなイベントとなっているからです。訪問を心待ちにしていたので、今年行けなかった分、来年参加したいと、既に申し出ている高校生も多くいます。

ビーバートン市とユージーン市の高校生に代わりお伝えしたいのですが、来年2021年の夏には、オレゴンの高校生グループが大垣を訪問し、異文化体験をすること、フレンドリーシティ交流が再開できることを、心より願っています。そして、毎年秋に行われている大垣の高校生のビーバートン市とユージーン市訪問が、来年の秋に再び実施されることを心より願っています。

入店者のマスク着用義務を伝える▶  
スーパーマーケットの入り口

### ビーバートン市の様子



▲街路樹が美しい街並み



▲市役所の前の広場でのナイトマーケット

### 小沢 勝義さん

オレゴン異文化交流協会会長。  
ビーバートン市、ユージーン市の高校生ホームステイグループの日本訪問を主催し、昨年までに同プログラムは30回を迎えられました。平成28年度から大垣の高校生派遣事業が始まり、現地での学校訪問やホームステイなどコーディネートしていただいています。



▲家の裏庭にて、孫と一緒に



## 米国・ユージーン市(オレゴン州)

ユージーン市の人口は約16万人、そして周辺を含めた地域では約38万人が暮らしています。オレゴン大学のホームタウンで、革新的なビジネス、地ビールやワイナリー、林業、農業など多様な産業があります。また、海まで1時間半、スキー場や山まで2時間、そして高地砂漠地帯まで3時間で行くことができ、とてもアクセスがよい所です。

10月から5月は雨期ですので、オレゴンを堪能できる一番の季節は夏です。夏には多くのフェスティバルがあり、ワイナリーや、その他たくさん見どころがあります。毎年7月に開催のヒッピーのお祭り“Oregon country fair”には、私自身35年間携わっています。ユージーンのスアデーマーケット(土曜市)と似ていますが、木製ステージでの上演や、食べもの、手作りの工芸品がたくさん売られているなど、とてもおもしろいイベントです。



サタデーマーケット(土曜市)

地元の食材や工芸品が売られており、地元の人はよく行きます。友人のマイク(写真左から2番目)は、この写真のような染物(タイダイ)を作って、マーケットで販売しています。

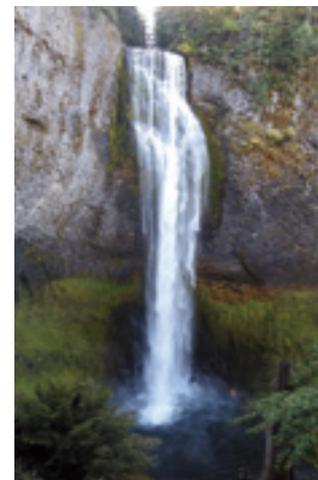
### (編集委員会による追記)

米国西海岸の大規模な森林火災では、オレゴン州内においても50万人以上に避難準備指示が出されており、大気汚染など人々の生活に大きな影響を及ぼしています。今までにオレゴン州では4,000km<sup>2</sup>(大垣市面積の約20倍)を超える地域が焼き尽くされ、火災が鎮静するまでには時間がかかる見込みで、心配されます。(9月17日現在)

## オレゴンの大自然



巨木に囲まれた森林  
(パウントレイルPAWN Trail)



サハリー滝(Sahalie Falls)

## ウォレン ウォルシュさん

オレゴン州の高校生ホームステイグループの大垣訪問グループのメンバーとして2015年に大垣を訪問。その翌年から始まった、高校生派遣事業の際には、ユージーン市滞在中にいろいろな場所を紹介してくださいました。



## 新型コロナウイルス禍での生活

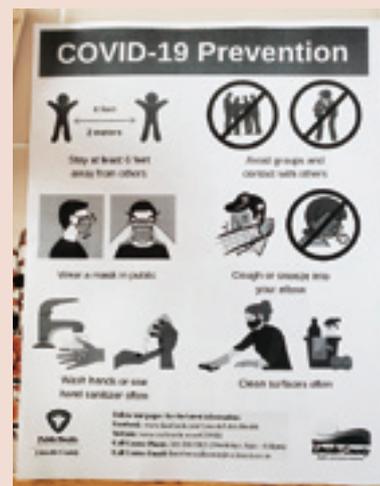
米国全土においても、オレゴン州内においても、状況は都市によって全く違います。ルールを順守する地域もあれば、ルールに従わない人が多い地域もあります。ここ、ユージーンでは、現在、ホテル、レストラン、プール、サウナは閉鎖されています。

国からの新型コロナウイルスに関する情報や指針は、迷走しています。感染者は増える一方、死者や入院治療者数は減少しています。死者の大半は、70代以上で基礎疾患を持つ人だと報じられています。

幸いにも、ここユージーンでは、大きな感染拡大にはなっていません。しかし、ポートランド(オレゴン州最大都市)は大都市であり人口密度も高いため、大変危機的な状況になっています。私は医療従事者ですが、病院は通常の運営をしています。患者は、治療の前には簡易検査を受けます。医療従事者は検査を受ける時間的な猶予のない心臓発作と脳卒中の場合のみ、特殊なマスクやガウンを着用して治療にあたります。悲しいことに、治療を延期したことにより、重症化したり亡くなったりした人を見てきました。癌が悪化し、動脈硬化、また体調の悪化などを引き起こしています。

経済の悪化により職を失った人も多く、彼らは大都市で起こっている暴動に参加しています。こうしたことも影響し、ポートランドのような大都市では感染が拡大しています。本当につらく深刻な時ですが、これを乗り越え「今までのような日常」が戻ってくることを願っています。

今年の交流が中止になったことは、大変残念に思います。しかし、日本の状況がよくなり、来年には人々の行き来ができるようになり、オリンピックが開催され、そして再び、交流が復活できることを心から願っています。そして、ユージーンのことを、みなさんにもっと紹介したいと思っています。



▲感染予防の啓発ポスター

# 賛助会員募集

賛助会費は、地域の国際交流活動や多文化共生社会の取組のために大切にに使わせていただきます。当協会の設立趣旨や活動をご理解の上、支援して下さる方のご協力をよろしくお願いいたします。

## 年会費

個人会員：一口3,000円  
 団体会員：一口10,000円

## 特典

・提携旅行会社、飲食店などでの割引  
 ・当協会主催の語学講座への優先申込や受講料の割引

詳しくは、下記までお問い合わせください。

## 団体・法人会員をご紹介します(五十音順、敬称略)

(医法)相生会稲川耳鼻咽喉科 揖斐川工業(株) イビデン(株) (株)植倉造園 (株)エヌビーシー 大垣ガス(株) (株)大垣共立銀行 (一社)大垣銀行協会 (一社)大垣市勤労者福祉サービスセンター	大垣正和サービス(株) (株)OKB総研 (株)大光 河合石灰工業(株) (資)川貞商店 岐建(株) 岐阜倉庫運輸(株) 岐菱商事(株) グレートインフォメーションネットワーク(株)	サンメッセ(株) 昭和技研(株) 西濃運輸(株) 太平洋工業(株) 太平洋精工(株) (株)田中モーターズ商会 TSUCHIYA(株) (株)デリカサイト 東海サーモ(株) (株)こやか旅行	日本耐酸壘工業(株) (株)野田クレーン (株)フォーラムホテル (株)ホンダ四輪販売丸順 (株)ボンフォーム 安田電機暖房(株) (株)山中工務店 (株)矢橋コンサルティング 矢橋大理石(株) (宗法)祐念寺
---	---	--	--

## ご報告

令和2年度もフレンドリーシティ派遣及び受入事業を予定しておりました。しかしながら、新型コロナウイルスの世界的な流行や対象者が小・中学生及び高校生であることを鑑み、中止することいたしました。収束した際には、来年度以降の交流事業を再開しますので、みなさまのご応募をお待ちしています。

## 今後の事業予定

### 現在、受講者募集中

- 10/18~11/29 日本語指導ボランティア講座(入門編)
- 10/23~12/11 英語基礎会話講座
- 10/24~12/19 フランス語基礎会話講座

- 11月 外国人市民のための日本語教室(基礎クラス第3期)  
就学前外国人児童日本語等指導事業
- 1月 韓国語基礎会話講座  
ドイツ語基礎会話講座  
日本語指導ボランティア講座(ブラッシュアップ編)
- 2月 地域日本語教育シンポジウム
- 3月 機関誌「フレンドリー」発行
- 通年 マンツーマン方式日本語学習支援相談窓口

新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、中止になる場合もあります。詳細は、ホームページ等でご確認ください。

## 大垣市内在住外国人の国籍別人数表

総数:5,562人(前号(令和2年3月号)との比較(119人減) ※令和2年8月末現在

国籍	人数	前号(令和2年3月号)との比較	国籍	人数	前号(令和2年3月号)との比較	国籍	人数	前号(令和2年3月号)との比較
ブラジル	2,450	-97	台湾	10	0	マレーシア	2	-3
中国	1,235	-9	エジプト	8	1	メキシコ	2	0
ベトナム	502	24	ボリビア	7	0	パラグアイ	2	0
フィリピン	447	-1	モンゴル	7	-1	ウクライナ	2	0
韓国又は朝鮮	277	-6	イタリア	6	0	ジャマイカ	2	1
ペルー	140	-1	トルコ	6	1	オーストラリア	1	-1
ネパール	105	-10	ルーマニア	4	0	チリ	1	0
インドネシア	75	-5	スペイン	4	2	ガーナ	1	0
ミャンマー	42	5	シンガポール	4	0	オランダ	1	0
アメリカ合衆国	38	0	イギリス	4	0	ニュージーランド	1	0
カンボジア	36	-8	カナダ	3	-1	スウェーデン	1	0
スリランカ	35	3	コロンビア	3	0	無国籍	4	-1
タイ	33	-1	コートジボワール	3	0	モルドバ	0	-2
パキスタン	22	-2	ラオス	3	0	ノルウェー	0	-1
インド	15	-1	アルゼンチン	2	-2			
バングラデシュ	14	-3	ドミニカ共和国	2	0			
総人口に占める割合								3.5%

## 編集後記

フレンドリー89号編集の時点では、令和2年度の事業計画の実施が期待されましたが、いまだに、新型コロナウイルスの勢いは衰えず、ほとんどの事業計画に支障をきたしました。

各国のフレンドリーシティに、新型コロナによる影響と現況を尋ね、特集をしました。社会生活、経済には大きな変化が窺えますが、自然の美しさは、いつまでも変わりなく人々に癒しを与えています。フレンドリーシティの報告をご一読ください。

当協会も、コロナ対策を十分に考え、講座等の事業を開発しております。ご協力をよろしくお願いいたします。

次号発行の頃には、コロナが収束に向かっての事を願っています。



# フレンドリー No.90

編集/公益財団法人 大垣国際交流協会 広報委員会



ホームページQRコード

〒503-0911 大垣市室本町5丁目51番地 スイピアセンター学習館2階  
 TEL(0584)82-2311 FAX(0584)82-2314  
 [E-mail] oiea@mb.ginet.or.jp

発行/2020年9月  
 印刷/サンメッセ株式会社